

## 第1回一般入試美術実技課題問題について

## 【2022年度実技入試問題】

台の上に置かれているものを鉛筆でデッサンしなさい。

※ 台の上に見える陰影も描いてください。

画用紙F8号サイズ（時間90分）

## &lt;注意点&gt;

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・ほぼ実物大に描き、モチーフの中にある陰や台に映った影も入れる。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

## &lt;解説&gt;

試験は低めの台にモチーフを置き、その周りを4、5人の受験生で囲み、イーゼルを使用して描く形式である。また、モチーフはどこから見ても有利不利が出ないように座席に配慮した。

出題したモチーフは、幾何形体を基本に選定した。今年度は、レンガ、白いホーロー製のボウル、紙コップ（白と黄の縞模様）の組みモチーフである。レンガは立方体を基本の形としており、手前の辺と奥の辺の長さの違いがある事を理解できていること、ホーロー製のボウルと紙コップは中心線を軸に左右対称であることを理解していれば、正確な形をとることができるだろう。また、同一平面上に配置されているという認識を持って陰影をつけることも必要である。更に、鉛筆の濃さやタッチを変えることで材質の違いを描き分けることができれば、なお高評価である。今回の入試では色の明度による差を理解し、映り込みのディテールまで粘り強く描き込む受験生が多く見られた。

## &lt;採点の基準&gt;

- ・モチーフをよく観察し、理解できているか。
- ・立体感や空間の表現ができているか。
- ・最後まできちんと描こうと努力しているか。

※デッサンの練習をしたら、学校の美術科の先生などに講評していただくことをお勧めします。

